

ファンドA収支報告書

見本

区分番号は、右側の区分表【区分番号】より、作成する事業の番号入力してください。
「中区分」および「小区分」が自動表示されます。

都道府県協会名	一般財団法人〇〇県バスケットボール協会
部門/団体名	県ユース育成委員会
担当者役職・氏名	ユース育成マネージャー △△ 次郎

区分番号	1
中区分	①育成環境整備事業
小区分	U12育成事業
事業名	U12都道府県育成センター
実施期間	2022年5月10日 ~ 2022年6月20日
実施場所	〇〇県総合運動場体育館

【中区分・小区分】欄
・中区分と小区分は、右側の【区分表】の区分番号を入力する事で、自動表示されます。入力する必要はありません。

【事業名・実施期間・実施場所】欄
・太い枠の中に業名は省略せず全てご記入願います。
・開催場所が複数あり書ききれない場合は、「〇〇会場他」と記入してください。

区分番号	中区分	小区分	割合	申請上限額
1		U12育成事業		0
2	①育成環境整備事業	U14育成事業		0
3		U16育成事業		0
4		キッズ普及促進事業		0
5	②普及促進事業	シニア関連事業		0
6		その他普及促進事業		0
7		審判養成事業（審判講習会、研修会等）	※1	対象外
8		審判派遣事業	※2	350,000
9	③人材養成事業	審判インストラクター養成事業	※1	対象外
10		スタッフ・TO要員養成事業	0.75	0
11		指導者養成事業（指導者講習会、研修会等）	※1	対象外
12		その他人材養成・指導伝達事業（医学・栄養講習等）	0.75	0
13		U12リーグ戦運営事業		0
14		U15リーグ戦運営事業		0
15	④-1競技環境整備（リーグ戦運営）事業	U18リーグ戦運営事業		0
16		社会人リーグ戦運営事業		0
17		シニアリーグ戦運営事業		0
18		その他リーグ戦運営事業		0
19		U12競技会運営事業		0
20		U15競技会運営事業		0
21	④-2競技環境整備（競技会運営）事業	U18競技会運営事業		0
22		社会人競技会運営事業		0
23		天皇杯・皇后杯都道府県予選運営事業		0
24		その他競技環境整備（競技会運営）事業		0
25	⑤3x3事業	3x3普及促進事業		0
26		3x3競技会運営事業		0
27	⑥社会貢献事業	障がい者バスケットボール支援事業		0
28		その他社会貢献事業		0

【収入】

項目	予算	決算	摘要（内訳）/備考
1.D-fund 収入	180,000	300,000	
2.協賛金	50,000	50,000	〇〇株式会社 50,000円、●●新聞社 50,000円
3.広告料			
4.放映料			
5.入場料			
6.プログラム売上代			
7.参加料	320,000	3,200,000	1,000円×40人×8回
8.記念品等売上			
9.補助金	100,000	100,000	〇●県スポーツ協会交付金
10.講習会受講料			
11.その他収益			
合計	650,000	3,700,000	

【支出】

項目	予算	決算	対象経費	対象外経費	摘要（内訳）/備考
1.会議費	15,000	10,000	10,000	0	会議室5,000円 お弁当5,000円 (@500×10名)
2.旅費交通費	320,000	350,000	350,000	0	スタッフ交通費 2,000円×10人×8回、日当 2円×10人×8回、講師分交通費30,000円
3.通信運搬費	20,000	20,000	20,000	0	資料発送
4.消耗品費	30,000	50,000	50,000	0	ラインテープ、リングネット購入
5.器具備品費		0	0	0	
6.印刷製本費		50,000	0	50,000	報告書冊子印刷 100部
7.賃借料	30,000	50,000	50,000	0	会場代
8.広告宣伝費		0	0	0	
9.諸謝金		15,000	10,000	5,000	講師謝金 15,000円×1回
10.保険料	40,000	40,000	0	40,000	200円×25人×8回
11.支払手数料	1,000	1,000	1,000	0	振込手数料
12.報償費	30,000	30,000	30,000	0	メダル購入 40個
13.食糧費	160,000	150,000	150,000	0	弁当代・飲み物代 20,000円×7回、10,000円×1回
14.雑費		0	0	0	
合計	646,000	766,000	671,000	95,000	

収支差額(決算)	2,934,000
----------	-----------

交付金申請上限額	0
----------	---

交付金申請金額	300,000
---------	---------

JBA使用欄

確定金額	
------	--

＜交付金申請上限額＞
※交付金申請上限額は、実績で再計算されます。（予算計画時の上限額で固定されるわけではありません。実績が優先されます。）
※交付金申請上限額は、活動単位における交付金申請上限額（割合）を定めました。自動計算されるので、記入は不要です。
※活動の実績（総事業費：対象事業の支出総額）に対して一定割合の金額に設定されています。（一部の事業を除く）

＜交付金申請金額＞
※交付金申請上限額よりも対象経費の合計額が下回った場合、対象経費の合計額が交付申請上限額となります。
※交付金申請上限額の範囲内で、希望する交付金申請額を記入してください。[収入]の「D-fund 収入」へ自動転記されます。

※どちらの金額も、千円単位の設定となっています。

予算【収入】1.D-fund収入
『収支予算書』において、査定されました金額を記入してください。
見本として180,000円を設定しています。

【予算欄】は、「収支予算書」(p.5)の【予算金額】を転記してください。

【予算・決算・摘要（内訳）/備考】欄
太い枠の中に、金額や内訳などご記入してください

【予算・決算】欄
それぞれの項目ごとに金額を記入してください。
D-fund収入金額の欄は「交付金申請金額」の金額が転記されますので、記入は必要ありません。

【摘要（内訳）/備考】欄
太い枠の中に算出根拠がわかるように詳細情報を記入してください。

【決算・金額】欄
計算式が設定されていますので、入力不要です。

【対象経費・対象外経費】欄
申請要項【別紙①.ファンドA交付金/対象経費基準】に基づき、『支出明細書』に入力した金額が自動表示されます。

【摘要（内訳）/備考】欄
経費の摘要（内訳）/備考は、「支出明細書」に詳細情報を記入している場合、記入は必要ありません。

【区分表・区分番号】
上記の【区分番号】①～②⑧を収支予算書の『区分番号』欄へ入力して、申請する事業を作成してください